

令和2年10月1日
全史料協関東部会運営委員会

『アーキビスト』掲載投稿原稿募集のお願い

平素より格別のお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます

新型コロナウイルス禍のなか、総会・記念講演会及び定例研究会が延期となり、皆様には多大なご迷惑をおかけしてしましまして誠に大変申し訳ありません。そのような社会状況におきましても『アーキビスト』第94号を無事刊行することができました。これもひとえに皆様のご協力のおかげでございます。感謝申し上げます。

さて、次号（第95号）以降の刊行につきましては、現在のところ記念講演会及び定例研究会を延期せざるを得ない状況となっているため、『アーキビスト』を刊行するための原稿が不足することが予想されます。運営委員会においてこの点を協議した結果、今後オンラインにて定例研究会を再開していくこととなりましたが、社会状況の変化などによって予定の変更をせざるを得ない可能性は否定できません。

そこで、『アーキビスト』の内容を充実させるためにも、皆様に原稿の投稿をお願い致したく存じます。内容は、館のご紹介や新刊紹介及び書評などでも構いません。また、コロナ下の現状において本務で手一杯のなか近況報告をされたいという方もいらっしゃると思いますので、情報交換的な内容でも構いません。詳細は下記要項のとおりですので、もし原稿を投稿していただける方がいらっしゃいましたら、事務局までご連絡いただければ幸いです。

以上、何卒よろしくお願い申し上げます。

記

〈原稿募集要項〉

類 別：投稿原稿

形 態：Word や一太郎等文書作成ソフト（Ver.やNo.を明記）により作成したファイル（完成原稿で）
に加え、テキストファイルを添付（執筆者校正なし。必要な場合は要連絡）

原 稿：表題、執筆者氏名（所属）、本文（図表挿入可）

文 字 数：①1000～2000字、②2000～4000字（①でも②でも構いません）

提出方法：電子メールにて事務局に提出（jimukyoku@jsai-kanto.jp）。

内 容：館の紹介、新刊紹介及び書評、コロナ下の現状に関すること（情報交換的な内容でも可）

べ 切：状況変化を鑑みべ切は特に設けませんが、第95号掲載の場合は令和3年2月末まで、96号掲載の場合は令和3年8月末までにお送りください。なお、それ以降でも原稿は募集いたします。

そ の 他：内容以外の詳しいことや、表記・審査などにつきましては投稿規定をご覧ください（<http://www.jsai-kanto.jp/shippitu-kitei.pdf>）。また、ご不明な点がございましたら事務局までご連絡ください（jimukyoku@jsai-kanto.jp）